

## ■各処理区の事後評価結果の概要

### 〔1〕野川処理区：

(流域関連公共：武蔵野市、三鷹市、小金井市、府中市、調布市、狛江市の6市)

改善項目	評価指標	対策前	計画値	事後評価 (平成25年度)
①汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	932.5t/年	669.2t/年	640.7t/年 (達成)
②公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	平均48回	平均23回	平均22回 (達成)
③きょう雑物の削減	きょう雑物除去 施設設置箇所数	0箇所	72箇所	72箇所 (達成)

下水道法施行令第6条第2項等に基づく、吐口および処理場の放流水質の調査結果から算出した、野川処理区の放流水質(BOD)は21mg/L(平成26年12月16日調査)です。  
整備した雨水貯留施設の容量21,000m<sup>3</sup>。

### 〔2〕北多摩一号処理区：

(流域関連公共：立川市、府中市、小金井市、小平市、国分寺市、東村山市の6市)

改善項目	評価指標	対策前	計画値	事後評価 (平成25年度)
①汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	871.1t/年	539.0t/年	524.3t/年 (達成)
②公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	56回/年	25回/年	23回/年 (達成)
③きょう雑物の削減	きょう雑物除去 施設設置箇所数	0箇所	12箇所	12箇所 (達成)

下水道法施行令第6条第2項等に基づく、吐口および処理場の放流水質の調査結果から算出した、北多摩一号処理区の放流水質(BOD)は33mg/L(平成26年9月1日調査)です。  
整備した雨水貯留施設の容量40,000m<sup>3</sup>。

### 〔3〕北多摩二号処理区：

(流域関連公共：立川市、国分寺市、国立市の3市)

改善項目	評価指標	対策前	計画値	事後評価 (平成25年度)
①汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	289.8t/年	200.3t/年	150.4t/年 (達成)
②公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	51回/年	23回/年	17回/年 (達成)
③きょう雑物の削減	きょう雑物除去 施設設置箇所数	0箇所	3箇所	3箇所 (達成)

下水道法施行令第6条第2項等に基づく、吐口および処理場の放流水質の調査結果から算出した、北多摩二号処理区の放流水質(BOD)は25mg/L(平成26年12月1日調査)です。  
整備した雨水貯留施設の容量13,000m<sup>3</sup>、整備した高速ろ過施設の処理能力7,300m<sup>3</sup>/hr。

○各施設の規模については、計画値と事後評価との比較により適正であることが確認できます。